

2026 年 6 月 23 日
あいの風とやま鉄道(株)

あいの風とやま鉄道の安全に関する取組み

1. 基本的な取組み

当社は、「安全性の確保」を最優先として、法令順守のもと社員一人ひとりが責任を自覚し行動する取組みを進めると共に、社員の声や他会社での発生事故等の情報を基にリスクを検証し、年間を通して必要なハード・ソフト対策を講じています。

この事により開業以来、大きな事故(列車事故等)もなく今日まで運営を行なっておりまいりましたが、更なる安全性の向上に向け、今後も引き続き着実な取組みを推し進めてまいります。

2. 安全目標及び事故・輸送障害の発生状況

(1) 安全面で重大な事象

『安全に関する重大事故を発生させない』を目標としている。

事象	2023 年度 実績(件)	2024 年度 実績(件)	2025 年度 実績(件)	2026 年 5 月末実績(件)
列車衝突	0	0	0	0
列車脱線	0	0	0	0
列車火災	0	0	0	0
お客様の死亡事故[0]	0	0	0	0
作業者の死亡事故[0]	0	0	0	0

(2) 安全面で危険では無いが、お客様にご迷惑をかける事象

鉄道設備の故障や社員の取扱い誤りにより、旅客列車に 30 分以上の遅延や運休が発生したものの

	2023 年度 実績(件)	2024 年度 実績(件)	2025 年度 実績(件)	2026 年 5 月末実績(件)
計	6	6	4	0

3. 鉄道におけるリスクと当社の状況

鉄道における重大リスク事象として、列車「衝突・脱線・火災」がありますが、「衝突・脱線」については自動列車停止装置や車両異常挙動検知装置の導入、「火災」については難燃素材の使用などにより、事象の発生を抑えています。また、保守については基準を定め、お客様に不安なく乗車していただけるレベルを確保しております。

課題としては、社員の約 8 割が鉄道経験 10 年未満と経験が浅いことから、継続した訓練などにより、技術継承と人材育成を行なっています。

今年度に入り 4 月 1 日、列車内においてモバイルバッテリーが発煙するという事象が発生しました。社員及びお客様による迅速な対応により大事には至りませんでした。これを踏まえ乗務員による乗客の避難誘導方法を確認する訓練を実施したほか、お客様への注意喚起を実施しています。

4. 安全に関する取り組み事項（2026年度計画）

安全の確保は、一人ひとりの社員が自身の役割を正しく理解し確実に実行することで成り立ちます。そのために、決められた「ルールへの遵守」、意識ある「基本動作の実行」、業務に対する「知識・技能の向上」に向け以下の具体的取組を行っています。

- (1) 決められたルールを遵守し、意識ある確認と基本動作を実行
 - ・ 規程及びルール制定の経緯や背景等の理解と遵守
 - ・ 意識ある指差確認・喚呼による 確実な 「基本動作」、「基本作業」
- (2) 業務に対する知識・技能のレベルアップ
 - ・ 自身の業務を確実に遂行できるよう、知識と技能のレベルアップ
 - ・ 学んだ知識や技能を業務の中で活かせるよう日頃から訓練を実施
- (3) 自然災害や異常時における対応能力の向上
 - ・ 事故や自然災害、テロなど不測の事態での対応力向上を目的に、各種訓練を実施
 - ・ 現車を活用した異常時対応訓練や運転士シミュレーターの活用による異常時対応能力の向上
- (4) 安全管理体制を確立
 - ・ 運輸安全マネジメントの理解を深めるための研修を継続して実施
 - ・ 社員から提起されたリスクの適正な評価及び速やかな対策の実施
 - ・ 熱中症対策として空調服導入等



信号扱い確認風景



脱線復旧訓練風景



空調服着用の作業風景

(5) 安全に係る設備の充実

2026年度設備の導入・改修（主なもの）

項目	備考
保安防災対策	・ 線路のり面の保全（コンクリートシート） ・ 老朽化した消雪散水井戸の堀替 等
安全・安定輸送	・ 富山駅及び富山貨物駅熱風式融雪装置の更新 ・ 信号機等のLED化の推進 ・ 踏切保安度の向上 等
保安度向上	・ 法指定踏切の拡幅整備（沖田踏切） ・ 重点区間等におけるレール交換 ・ 光ケーブル化の推進 等
老朽対策	・ 庄川橋りょう、小矢部川橋りょうの塗装 ・ 電柱（コンクリート）の取替え ・ 521系中間車両の導入 等

(6) 重点化して実施する訓練

- ・ 警察・消防と連携した現車を活用したテロ対応訓練
- ・ お客様救護を主眼とした本社図上訓練